

# ドラッグインフォメーション

2020年4月改訂

販売名	ホウ酸「ヨシダ」	製造販売	吉田製薬株式会社										
局方名	日本薬局方 ホウ酸	発売年月	1961年1月										
洋名	Boric Acid	薬価収載年月	1961年1月										
一般名	ホウ酸	薬価	10g 22.00	健保適用									
剤形	散剤	日本標準商品分類番号	871314										
規制区分	普通薬 日局	YJコード	1314701X1305										
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	1314701X1305	YJコード	1314701X1305										
性状	<p>本剤は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに特異な味がある。</p> <p>本剤は温湯、熱エタノール(95)又はグリセリンに溶けやすく、水又はエタノール(95)にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。</p> <p>本品 1.0g を水 20mL に溶かした液のpHは 3.5～4.1 である。</p>												
組成	本剤 1g 中、日局ホウ酸 1g を含む。												
効能・効果	結膜囊の洗浄・消毒	用法・用量	2%以下の濃度で用いる。										
薬理作用	弱い殺菌力(特に糸状菌に)があり防腐力もある。刺激性もなく、作用は緩和である。												
毒性	<p>急性毒性: LD50 (mg/kg)</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>ハツカネズミ</td> <td>シロネズミ</td> </tr> <tr> <td>経口</td> <td>3450</td> <td>2660</td> </tr> <tr> <td>皮下</td> <td>2070</td> <td></td> </tr> </table> <p>ホウ酸を皮膚に塗布すると、健康な皮膚からはほとんど吸収されないが、皮膚に火傷部位、湿疹その他の開放性創傷がある場合には容易に吸収される。そのため中毒が起こり、ときには死亡する例もある。又ホウ酸は消化管、膀胱粘膜から容易に吸収されるが、吸収されたホウ酸は、生体内組織中、脊髄、とくに灰白質に多く、又肝、腎および体脂肪中に蓄積する。排泄は主として腎から行われる。中毒症状はまず、消化器症状から始まり悪心、嘔吐、腹痛、下痢、次いで全身症状中毒性紅斑を生ずる。重篤な場合は、嗜眠状態となり、痙攣を起こして死亡する。</p>					ハツカネズミ	シロネズミ	経口	3450	2660	皮下	2070	
	ハツカネズミ	シロネズミ											
経口	3450	2660											
皮下	2070												
使用上の注意	<p>1. 副作用</p> <p>本剤は、使用調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; width: 50%;"> <tr> <td style="width: 50%;">種類\頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>過敏症</td> <td>過敏症状</td> </tr> </table> <p>注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。</p> <p>2. 適用上の注意</p> <p>1) 長期間にわたり使用しないこと。</p> <p>2) 眼科用のみ使用すること。</p>				種類\頻度	頻度不明	過敏症	過敏症状					
種類\頻度	頻度不明												
過敏症	過敏症状												
取扱上の注意	貯法: 密閉容器、室温保存 包装単位 結晶 : 500g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10										